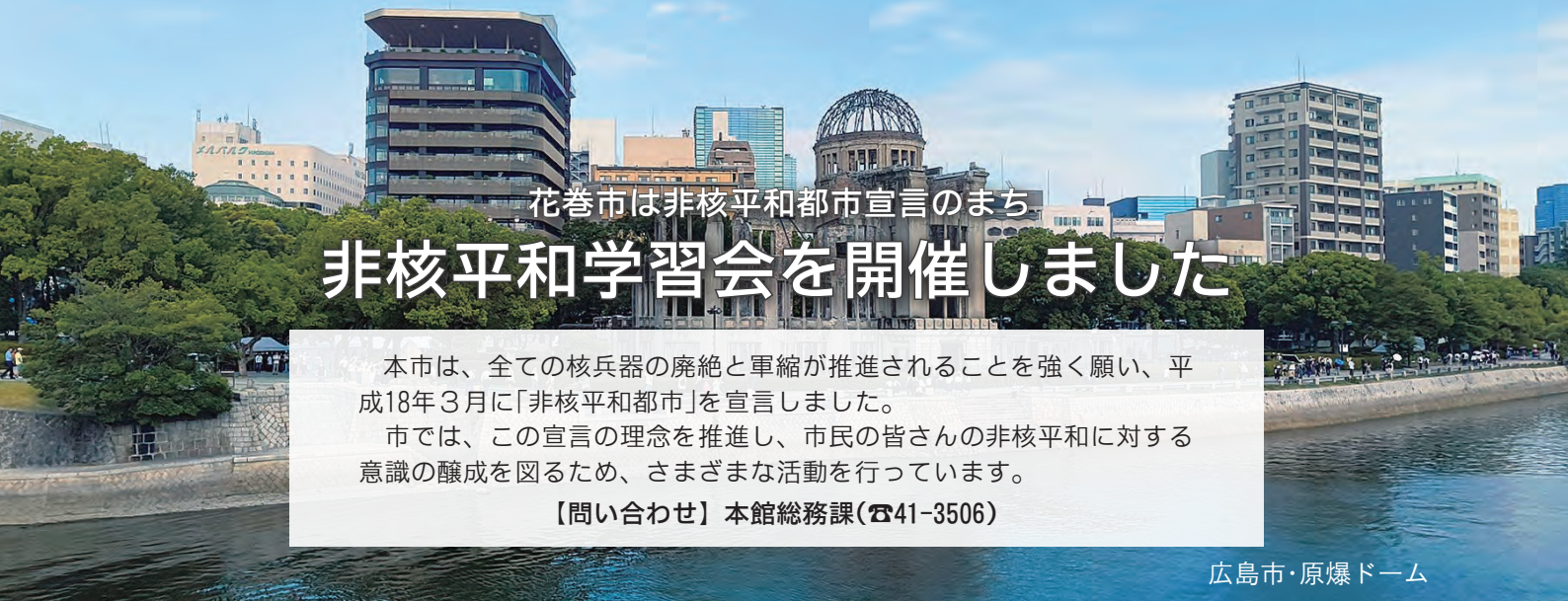




花巻市は非核平和都市宣言のまち

非核平和学習会を開催しました

本市は、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言しました。

市では、この宣言の理念を推進し、市民の皆さんの非核平和に対する意識の醸成を図るため、さまざまな活動を行っています。

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)

広島市・原爆ドーム

広島、長崎への原子爆弾投下から本年で80年を迎えます。原子爆弾が投下されたこと、それにより被爆した人がいることなどを改めて認識するとともに、そのことを特に若い世代に伝え、核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けた意識の醸成を図ることが大切です。

市では、子どもたちに平和の尊さを考えてもらうとともに、そのことを同世代へ伝えてもらうため、非核平和学習会を開催。8月5日・6日に平和記念式典が行われる広島市へ市内小学生を派遣しました。子どもたちは、式典参加のほか、平和記念公園や平和記念資料館を訪れました。

この学習会に参加した子どもたちの感想文の一部を紹介します。自分の目や耳で感じた原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さについて、自分たちの言葉でつづっています。皆さんも子どもたちの言葉を通して、平和の尊さについて考えてみませんか。

*掲載文は、学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋(原文ママ)です。全文は、市ホームページに掲載しています



非核平和学習会に参加して



花巻小学校6年
千葉 広翔 さん

ぼくが、この非核平和学習会に参加するきっかけになったのは、学校でこの平和学習会についてのプリントがきて、ぼくは歴史は好きだけど、原爆や核兵器については全然知らないし、学びたいと思い、参加しました。

資料館では、原爆の怖さや、四千年の熱で大やけどしてしまった人の姿を見ました。落とされたとき、どれだけつらかったかが分かり、本当に心苦しかったです。

二日目の式典では、参加する人の多さにおどろきました。よっぽど大きな戦争で、人の記憶に残るものなんだなと思いました。

ぼくたちは参加する前、花巻空襲について学びました。広島のこととは、何事じゃなくて、みじかなことなので、学んだことを伝えていきたいと思っています。

原爆がない未来を願っています。

同じ過ちをくり返さないために



桜谷小学校6年
徳林 毅琉 さん

僕は広島へ行き、戦争や原爆の悲惨さを知り胸が苦しくなりました。8月5日、6日に平和記念公園を周ったり、平和祈念式典にも参列しました。その中で心に残ったことが2つあります。

1つ目は平和記念資料館で原爆を受けた当時の様子などを見て、その怖さを感じたことです。ガイドの方から一発の爆弾で十四万もの人が亡くなったと聞いたときは、恐怖で鳥肌が立ちました。

2つ目は平和祈念式典で同じ学年の人が発表した平和への誓いの内容です。「被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら平和を創り上げていきます。」という部分が強く心にひびきました。

同じ過ちをくり返さないために、非核平和学習会に参加して学んだことを家族や友達に伝えていきたいです。そしてこの経験は大人になっても忘れないでいたいと思います。

クマはあなたのすぐそばに！

クマ撃退用スプレーの購入を支援しています

【問い合わせ・申請】農村林務課(☎23-1400 ☎23-1403 ✉nousonrinmu@city.hanamaki.iwate.jp)

岩手県内では、ツキノワグマ(以下、「クマ」と表記)による人身被害が深刻化しています。県内で本年度クマに襲われて亡くなった人は、10月15日現在で3人に上り、市にも多くのクマの目撃情報が寄せられています。

また本年度は、一昨年度同様、クマの餌となるブナの実(ドングリ)が大凶作であることから、クマが餌を求めて活動範囲を広げるなど、今後も引き続き活発な動きが予想されます。

市では、クマに遭遇してしまった場合に、クマから身を守るための有効な手段とされている「クマ撃退用スプレー」の購入を支援する新たな補助制度を創設し、すでに受け付けを開始しています。

また、クマが施設内に侵入した場合などに備え、市内の保育園、幼稚園、認定こども園、学童クラブ、小中学校などに同スプレーを配布しました。



クマ撃退用スプレーの購入に対する補助金

■対象 次のいずれかに該当する場合

①市内に住所を有する18歳以上の方がクマ撃退用スプレーを購入する場合

②市内にある事業所や団体などがクマ撃退用スプレーを購入する場合

■補助対象経費 クマ撃退用スプレーの購入費
※送料や付属品などは対象外

■補助率 補助対象経費の4分の1

■上限額 1本につき5,000円

■補助対象本数など

①補助の本数に上限はありませんが、1本ごとに補助金の申請を行う必要があります。例えば、2本目を購入するため補助金の申請を行う場合は、1本目を使い切っていることを確認します

②複数人で利用する場合、その人数分の本数を補助対象としますが、補助金の申請時に利用する人の氏名や住所などを記入した名簿の提出が必要です

クマ撃退用スプレーは、風向きや射程距離、噴射持続時間などに注意して使用してください。また、未経験の人は使いこなすことが難しかったり、周りに人がいる場所で使うとクマが興奮して逆に被害が拡大したりするなどの危険が伴いますので、注意が必要です。

◆クマ撃退に効果のあるスプレーの目安

現在、日本にはクマ撃退用スプレーの公式の認証制度がありませんが、一般的には、米国環境保護庁(EPA)の認証を受けた製品が信頼の目安とされており、その概要は以下のとおりです。

- カプサイシンの成分が1～2%含まれている
- 噴射距離が7メートル以上である
- 噴射時間が6秒以上である

◆不安な場合は農村林務課に相談を

クマ撃退用スプレーは海外製品が多く、説明が英語で表示されているものも多くあるため、クマ撃退に効果があるのか判断することが難しい場合があります。

スプレーを購入する際に、店舗やインターネット上でEPA認証が確認できれば、そのスプレーは補助の対象となります。購入しようとしている製品について、EPA認証を確認できないなど、クマ撃退に効果があるものか不安な場合は、農村林務課へご相談ください。

※窓口のほか、電話やファクス、メールでも相談できます。補助金の申請方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください

